事例No.	1361
公表年度	R2
団体の属性	中核市
団体名	福島県福島市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	ユニバーサルデザイン化事業

事例内容・タイトル

福島駅周辺バリアフリー推進事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

ユニバーサルデザイン化事業 ②

事業の概要

福島県福島市（人口29.4万人）「福島駅周辺バリアフリー推進事業」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の福島市開催を契機に、障がいのある方や外国人を含め、だれもが安心して訪れることのできるまちづくりを推進するため、玄関口となる福島駅前広場の段差の解消や案内看板の多言語表記化等を行う。

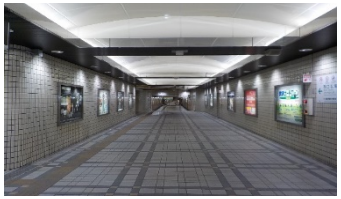
事業のポイント

○　福島駅周辺エリアの面的なバリアフリー化を行った。

- 広場の案内サインの多言語表記、ピクトグラム表記、点字案内板の設置
- 広場内の段差解消
- 地下歩道の照明改修（LED化）

事業実施期間：R元～R2年度
総事業費0.2億円

東西連絡自由通路照明灯改修
・照度を高めるためのLED化



広場段差改修
・バス乗り場への通路の段差を解消



広場案内サイン整備
・多言語表記
・ピクトグラム表記

広場案内サイン整備
・点字案内板



事業の効果

○　ユニバーサルデザイン化事業を活用することで、市の「顔」となる駅前広場が、障害のある方や外国人を含めて、安心して利用できるエリアとなった。